

平成 17 年 1 1 月 2 1 日

各 位

株式会社イズミ

## 『ゆめタウン佐賀』新築工事起工のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度『ゆめタウン佐賀』新築工事が着工いたしますのでご案内申し上げます。

豊かな自然環境に恵まれるとともに、城下町として発展し、伝統ある文化と歴史的背景を持つ佐賀市。『ゆめタウン佐賀』はその中心部に位置し、兵庫北土地区画整備事業の中核となる商業施設として来年（平成 18 年）秋の開店を目指しております。

『ゆめタウン佐賀』は、J R 佐賀駅の市中心部から約 2 k m に位置し、国道 34 号線（北部バイパス）と佐賀市中心部を取り巻く佐賀東部環状線の交差する立地は、抜群の利便性を誇ります。自動車を利用した 30 分圏（半径 20 K m）の周辺市町村 約 60 万人に加え、年数回程度の来店を見込む影響圏までを含めた商圈人口は約 120 万人。また、店舗周辺には区画整理事業の推進により約 2,000 世帯を抱える新たな住宅地や環状道路が誕生。佐賀都心の新たなランドマークとして活気ある商業エリアを創造します。

店内は核となるイズミ直営売場を中心に、準核であるスポーツ、家電、家具、玩具の大型専門店をモールで結ぶゆめタウン初のワン・モール型店舗で、さながらウインドショッピングを楽しみながら商店街を歩くかのような楽しさを演出。さらには多彩なエンターテイメント S C を目指して店舗に接続した形でシネマコンプレックスの導入を準備しております。

今後ともイズミは、地域の皆様方のご意見をいただきながら、さらにご愛顧いただけるショッピングセンターづくりに、また地域の発展のために微力ながら努力いたす所存でございます。

敬具

## 店舗の概要

1. 店名 「ゆめタウン佐賀」
2. 所在地 佐賀市兵庫北土地区画整理事業内
3. 開店予定日 2006年(平成18年) 秋
4. 敷地面積 約 110,000 m<sup>2</sup>
5. 延床面積 約 105,400 m<sup>2</sup>
6. 店舗面積 約 51,500 m<sup>2</sup>
7. 駐車台数 約 3,500 台
8. 建物構造 鉄骨造3階建  
(1・2階…店舗 3階・屋上…駐車場)
9. 営業時間 9:00～23:00(予定)
10. 年商予定 260 億
11. 投資予定 100 億
12. 建設業者 鹿島建設株式会社

13. 商圏	商圏エリア	世帯数	人口
	一次商圏	79,700	218,600
	二次商圏	54,500	184,000
	三次商圏	59,900	199,000
	合計	194,100	601,600

人口 H14年住民基本台帳による

15. 来店客数予測年間 1200 万人
16. 従業員数予定 1,700 名程度 (地元採用 1200名程度)
17. 専門店数予定 約160 店舗

## 『ゆめタウン佐賀』について

### ● 兵庫北土地地区画整理事業の中核商業施設として

J R佐賀駅周辺の佐賀中心部から約2 kmに位置する『ゆめタウン佐賀』は、佐賀市を中央に貫く国道34号線と、佐賀市中心部を環状に取り巻く主要道 佐賀東部環状線とが交差する位置にあり、広域からのアクセスが可能。また、兵庫北土地地区画整理事業の推進により、周辺は約2,000世帯を抱える新たな住宅地に生まれ変わり、さらに環状道の整備が予定されております。『ゆめタウン佐賀』はその都心整備の中核をなす商業施設として地域の利便性を向上させ、活気ある商業エリアを展開することで地域活性化に貢献します。

### ● 多彩な個性が競演。夢あふれる「街並み」を創造。

幅広い世代のお客様へ同時にたくさんの満足と安心、楽しみをお届けするために、多彩なエンターテイメント機能をひとつに集約。イズミ(直営)を中心に、準核としてスポーツ・家電・家具・玩具等の大型専門店を加え、個性豊かな専門店によって夢あふれる「街並み」を創造します。店舗は大型専門店を結ぶモールと、さらにGMSのイズミと大型レストランゾーンとの間を貫く広い通路を設けたクロスモールで、本格的なモール型SCとしてはゆめタウン初となります。またさらなるエンターテイメント性の向上に向けてシネマコンプレックスの準備も進めております。

### 今話題のテナント・旬のテナントを数多く導入

訪れるたびに新鮮な発見、感動がある。生活雑貨・衣料・飲食など魅力あふれる、個性豊かな約160のテナントの導入を予定。最先端の物販・サービス機能を集約し、新しいショッピングの喜び、リピート性の高いアメニティやアミューズメントを創造・発信し、日々の生活を快適にする身近なハイセンス空間を提供していきます。

### 環境に 人に やさしい店舗づくり

恵まれた豊かな自然環境をバックボーンに、機能性・安全性・景観を考慮した快適で活気のある街として、ソフト・ハードの両面から一体的な整備を実施。フラットな売場、幅の広い通路、多目的トイレの整備など、様々なバリアフリーを導入。さらに、夜間電力を利用した氷蓄熱システムを導入しCO<sub>2</sub>の発生を抑えるなど、環境に 人に優しい店舗づくりを計画しております。また、トレー回収活動・買い物袋持参運動の実施・お買い物介助サービス(エスコート係)などにも取り組んで参ります。